

富浦地区学校再編検討委員会第 1 回会議 概要

日時 令和 5 年 1 1 月 1 0 日（金）

会場 本庁別館 1 大会議室

関係者 検討委員 1 6 人、オブザーバー 3 人、事務局 1 2 人

～概要～

事務局より市内小中学校の現状や今後の推進体制等について説明し、委員長及び副委員長を選出。本検討委員会は、今後、富浦中学校と富山中学校の統合について協議・検討していくこととし、保護者説明会・地区説明会・第 2 回学校再編検討委員会の日程を決定した。

～会議内容～

●報告等

- （１）地区学校再編検討委員会設置要綱
- （２）南房総市内小中学校の現状と今後の推進体制
- （３）学校統合のメリット・デメリット

●委員長・副委員長選出

委員長は穂積利夫氏、副委員長は古内義教氏に決定。

●議事

- （１）学校再編に係わる協議・検討事項

本検討委員会で、富浦中学校と富山中学校の統合について協議・検討し、本検討委員会と富山地区学校再編検討委員会の双方で統合するとの結論が出たら、富浦地区及び富山地区学校再編検討委員会合同会議を立ち上げて、合同での協議・検討に進む。異議なし。

【質問】

委員 教育委員会としてスケジュール感を持っているのか。

教育長 はっきりしたスケジュール感はない。統合する方向性については、両地区で決めてもらい、その後合同会議で再編の時期についても協議してもらう。

【質問】

委員 再編にあたって、新しいシステムや編成の仕方は考えているか。

教育長 オンラインではなく、生徒同士、教師と生徒が日々向き合うような学校を目指して
いきたく、ＩＣＴを使って学校を運営していく段階ではないと考えている。

(2) 保護者説明会及び地区説明会

事務局案のとおり、保護者説明会は令和5年12月19日(火)、地区説明会は令和6年
1月24日(水)の開催で異議なし。

(3) 検討委員会第2回会議の日程

事務局案のとおり、令和6年2月14日(水)の開催で異議なし。

●その他

事務局より、報償費の支払い、会議録のホームページ掲載についてお知らせ

富浦地区学校再編に関わる保護者説明会 概要

日時 令和5年12月19日（火）

会場 富浦中学校体育館

関係者 参加者82人、検討委員16人、オブザーバー3人、事務局12人

～概要～

事務局より、富浦地区の中学校の現状、富浦地区の中学校再編について説明し、参加者からの質問に回答した。参加者から学校再編に対する否定意見は出なかったが、今後のスケジュール、再編後の中学校の位置やスクールバスなどについての質問が出た。詳細については今後協議・検討していくと説明した。

～説明会内容～

●説明

（１）富浦地区の中学校の現状、（２）富浦地区の中学校再編について

●質疑・意見交換

【質問】

保護者 スクールバスの台数の確保はできるのか。

教育長 もし富浦と富山が統合ということになれば必要なバスの台数は確保する。通学支援部会が検討し、台数が決まるので、今の時点で何台ということとは言えない。

【質問】

保護者 以前、富山と富浦を統合するのは距離の関係で難しいのでは、という議事録を見たのだが、以前の考え方と今回の考え方は変わったという認識でよいか。

教育長 平成22年頃に市内全体の再編計画を立て、その数年後に計画を修正した。現在は、基本的に児童生徒数の状況を見ながら適切に進めていく方針でいる。結果的には、バスに乗っている時間が30分程度、距離だと15km程度をひとつの目安として進めている。

【質問】

保護者 富浦中学校はスクールバスを運用していないが、富浦小学校は運用している。警報が出てバスが止まると保護者が学校まで送っていく。中学校になった場合、かなり距離があるが、どうするのか。また、令和9年に合併しても、その後たった6年後頃には、また元に戻るという見込みだが、どのように考えているのか。

教育長 警報が出た場合についてはスクールバスを止めるが、それ以外は運行しているので、保護者が送ることは想定していない。警報が出た場合については、安全確保のために、スクールバスを走らせていない。帰る際は、安全が確保された場合には引き渡すが、それまでは学校・子ども園で預かることを原則としてやっている。2つ目の質問は、総合しなければ生徒数も少なく、より厳しい状況になってくる。令和17年度になって何ができるかというのは、その時点で判断していかなくはないと考えている。

【質問】

保護者 中学校において、部活の終わる時間がバラバラだった場合、子どもたちの帰りはどうなるのか。

教育長 スクールバスを運行している中学校については、スクールバスの時間に合わせて各部が終わることになっているので、スクールバスで帰ることになる。休日に部活がある場合については、部活の活動時間に合わせてバスを運行している。

【質問】

保護者 予定としてはいつぐらいの合併を予定しているのか。

教育長 協議に早くても3年はかかると考えているが、具体的に何年かは今現在言えない。

【質問】

保護者 合併は中学校のみだが、統合後は富山学園はなくなり、富山中学になるのか。

教育長 新たな学園ということで、中学校は一つで、小学校は二つ、あるいは子ども園が二つというような形の学園になる可能性が強いと考えている。

【質問】

保護者 子どもの数は減っているが、教員の配置人数は変わらないのか。

教育長 教員数は国の法律で決まっており、増員を要望しているが、法律は頑として変わらないのが現状。

【質問】

保護者 統合するとなった場合、富山中と富浦中の生徒が急に一緒に通うことになるのか。

教育長 何回か一緒に学習をしたり、お互いの学校に行き来したりする機会を設け、子どもたちの負担にならないように、それぞれ配慮してやっていく。

【質問】

保護者 統合する場合、富浦中が富山学園のほうに行くことになるのか。

教育長 学校の位置などは両地区合同での会議で協議してもらうので、まだ決まっていない。

【質問】

保護者 警報が出てスクールバスは運休になった際の保護者の負担増について、検討してもらいたい。

教育長 現在、警報が出た場合はスクールバスは動かさないが、どうしても仕事に行く必要がある方は、学校・子ども園に子どもを預けてよいという姿勢だが、今後も検討させていただきたい。警報時には「引き渡しの3原則」の対応を行っているので、御理解いただきたい。

【質問】

保護者 現在、警報が出た時は、学校では通常で授業しますので、安全を確認したうえで御家庭の判断でとなっている。もし富山に行くとなると、南無谷のトンネルは大雨の際危ない。また、中学生となると、1日の欠席が受験に関わるので、理由があって欠席する場合は、欠席扱いにしないなどの検討もしていただきたい。

教育長 事情のある欠席の扱いについては、学校のほうと話し合って、検討していきたい。

富浦地区学校再編に関わる地区説明会 概要

日時 令和6年1月24日（水）

会場 富浦中学校体育館

関係者 参加者18人、検討委員17人、オブザーバー3人、事務局9人

～概要～

事務局より、富浦地区の中学校の現状についてや保護者説明会の概要についてを説明し、参加者からの質問に回答した。統合に関する懸念事項などが挙がったが、今後も、子供の将来を考え、どのような学校生活を送ることが子どものために大切なのか、保護者や地域の方々と慎重に協議・検討しながら進めていきたいと説明。

～説明会内容～

●説明

- （１）富浦地区の中学校の現状について
- （２）富浦地区の中学校再編について
- （３）保護者説明会の概要について

●質疑・意見交換

【質問】

参加者 災害があった場合、富浦が富山に行くにしても、富山が富浦に来るにしても、道が悪く、子どもの迎えの手段をどう確保すればよいのか不安。

教育長 現在、警報が出た場合、大地震があった場合等については、自宅周辺の安全が確認された場合、自宅と学校・園までの経路の安全が確認された場合、自宅で引き取った後に保護者がずっとついていることが確認された場合に、引き渡しの3原則が満たされた場合に子どもを引き渡している。三つの原則が一つでも欠けた場合については、園・学校で預かることを原則にしているので、道路の状況が不安な場合については、学校を信頼して預けてほしい。

東日本大震災を踏まえ、再編の際は、子ども園、小・中学校は安全なところに設置することを心掛けている。自宅に親御さんがいた場合は、子どもを引き取るのではなく、自宅から学校・園に避難していただきたい。

【質問】

参加者 富浦地区は転入生が増加していると思うが、再編をしないといけないのか。

教育長 転入者、移住者は確かにいるが、全体としては人数が減っているのが現状。

【質問】

参加者 例えば中学校と老人ホームというような複合施設として、中学校をそのまま残すことはできないか。お年寄りばかりだと寂しいので、年齢問わず多くの人がいる町に

したい。仕事をする場を政策的に増やせば、中学校や小学校の存続に繋がると思うがどうか。

教育長 仕事の間を増やすことは、教育委員会だけではなく、市全体で取り組んでいる。また、移住者も若干いるので、これらは今後も進めていく必要があると考えている。複合施設については意見としていただき、この後再編検討委員会がそれを踏まえて、また協議していく。

【質問】

参加者 統合する理由からいくと、三芳地区だけが取り残されていくような気がするが、なぜ三芳地区だけが合併の対象から外れてしまうのか。

教育長 三芳地区は生徒数がそれほど減っていない、または令和5年度に比べると若干増えているという状況にあるため、今回は三芳地区は除いて、生徒数が減っている富浦地区と富山地区で合併を検討していく。

【質問】

参加者 教員になる人も減少しているのか。

教育長 教員のなり手が減少しているのは事実で、全国的に教員の確保が厳しい状況にある。

【意見】

参加者 再編検討委員に市職員がいて、委員として発言がしづらいのではと感じるので、市職員ではない人に委員になってもらいたい。

教育長 P T Aも意図的に市職員を役員に選んでいるわけではない。また、市職員であつても保護者の立場があるので、主張すべきところは主張するし、他の委員さんもそういった気概も持って臨んでいると考えている。

富浦地区学校再編検討委員会第2回会議 概要

日時 令和6年2月14日（水）

会場 本庁別館 大会議室

関係者 検討委員16人、オブザーバー1人、事務局12人

～概要～

保護者説明会・地区説明会の概要を確認しながら協議を行った。富浦地区の中学校再編案を市が提案したが、三芳地区との再編について委員から言及があり、事務局で三芳地区PTAの意見を確認することとなった。

～会議内容～

●報告等

（1）保護者説明会・地区説明会の概要について

●議事

（1）富浦地区の中学校再編（案）について

- 委員からの提案により、オブザーバーである石井議員の意見聴取。令和15年頃に富浦も富山も三芳も急激な人数減少が見られるので、とりあえず三芳の保護者の意見を聞くのはどうかとの意見が出た。
- 事務局より、現時点で富浦・富山・三芳の3地区の統合を検討すると、三芳地区の児童の通学先の判断が難しくなる・クラス数が多くなり過ぎる等の理由から、今回は富浦・富山の2地区の再編の検討を提案したことを説明。

【質問】

委員 統合後5・6年経てば1学級になってしまい、そこでまた統合するかどうか考える必要が出るということになると、子どもたちの負担が大きいのではないか。今の規模での統合を推し進めてよいのか。

教育長 2校統合すると、当面は教員の数、クラス数等が確保できる。令和17年度に市内の中学校生徒数が300人になり、生徒数で言うと1校で十分と言えるが、地理的状况を考えると、1校では非常に困難があるだろうと考えている。その際にどうするかは、今後決断しなくてはいけない時期が来るとは考えているが、現時点では市が提案した案が最善だと考えている。

【質問】

委員 まずは富浦・富山の中学の再編ということでもいいと思うが、三芳も視野に入れた何らかの方法を検討してほしい。ちなみに、三芳小学校卒業時に、三芳中と嶺南中のどちらに行くかの希望は取っているのか。

教育長 市外の学校に行くには制限があるが、市内においては特に条件は設けていないため、希望すれば市内のどの学校にも行ける。三芳中学校にはない部活が嶺南中にある。

る等の理由で、三芳地区から嶺南中に通う人はおり、他にも、本来の指定学校とは違う学校に行く例は市内小学校・中学校でも出ている。三芳地区も含めた再編は、三芳中学校・小学校のPTAとの話し合いが一番早くできることだと考えている。

【質問】

委員 アンケートのような形になるかもしれないが、どこかのタイミングで子どもたちに意見を聞く場があってもよいのではないか。

教育長 大人であっても判断が難しいことを子どもに問うのは厳しいため、大人の責任ということで、会議を経て結論を出している。

【質問】

委員 小中一貫の富山学園に、小中一貫でない富浦小で育った子が入ることになったら、子どもの負担になるのではないか。

教育長 富山学園は、同じ敷地内・校舎の中に小学校と中学校が存在しており、これは富浦小学校、富浦中学校とも同じ形になる。統合の際には、学習内容は学校側で調整し、富浦小学校と富山小学校の子どもたちの交流活動が組まれていくことになる。

【質問】

委員 富山・富浦間のスクールバスのメインルートになるであろう国道127号に雨量規制がかかった際に、解除まで時間がかかることを考えると、子どもたちが学校で夜を明かす可能性もあると思うが、宿題や食事などの課題をどう考えているか。

教育長 防災倉庫にある非常食や毛布を使用する方向で考えている。電気・ガスが使えるれば給食センターでの食事の用意も検討している。また、薬を服用する必要のある子を把握し、毎日必ず飲む薬を学校に預ける、何回分か預ける等の配慮も必要になると考えている。

- 協議の結果、継続審議で異議なし。

(2) 今後の日程等について

令和6年4月になったら、事務局から各所属へ検討委員の推薦依頼を行い、その後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行う。手続きが完了次第、正副委員長と相談をして、令和6年度の1回目の会議日程を決定し、委員の皆様や関係者の皆様には後日、手紙にて案内をする。異議なし。

●その他

事務局より、報償費の支払いについて説明。

富浦地区学校再編検討委員会第3回会議 概要

日時 令和6年6月14日（金）

会場 南房総市役所別館1 大会議室

関係者 検討委員17人、オブザーバー3人、事務局12人

～概要～

学校再編検討委員会の体制の説明、生徒数・児童数の推移状況、富浦地区のこれまでの検討状況について確認。その他、事務局の再編案についてと、三芳地区との協議内容を説明し検討したが、保護者の意見を参考にしたいということで、PTA役員において意見のとりまとめを行うこととなった。

～会議内容～

●報告等

（1）富浦地区学校再編検討委員会の推進体制について

（2）富浦地区の中学校の現状について

【質問】

委員 教員は、規定どおりに配置されない可能性もあるのか。統合後も規定どおりの教員数が確保されないのであれば、生徒数だけ増えて、指導が手薄になる可能性もあるのでは。

教育長 今年度でいうと、年度当初に配置された教員は規定どおりだが、産休・育休を取る教員がいた場合、県からは人員が補充されないため、我々で探さなければいけない。不足する人員についても我々で探して充足させていくし、それは統合後も同様。

（3）富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について

●議事

（1）富浦地区の中学校再編（案）について

【質問】

委員 事務局がなぜ今回三芳を外したのか、より明確に説明してほしい。また、生徒にとってどんな効果があるのかを、できれば数値化できるような評価項目をとってほしい。

教育長 子どもの数がそこまで減っておらず、今後子どもの数は増えていくだろうという見込みをもっているため、今回三芳は外した。また、数値化できる評価項目については、統合した後の嶺南中の部活動の成績や学力は数字上から言っても高くなってきている。なお、数値化できない面についても、保護者や地域の方から、子どもたちが元気に活動している等の声をいただいている。

【質問】

委員 統合してバスに長く乗る必要が出ることもあるが、環境の変化等によりストレスを抱えて体調を崩す、精神的な負荷を感じるというような人は出てきているのか。

教育長 バスで通うことによって徒歩で通学するより家を出る時間が遅くなった事例もある。我々もバスに乗っている時間を短くできるよう工夫もしているので、今まで体調面・精神的面で不調を訴えたという人はない。

【質問】

委員 三芳地区のPTAでは、統合する必要ないという雰囲気なのか。

教育長 PTAの役員さん自身が、この地区は宅地が増えているから、他地区と違って子どもの数が急激に減ることはないだろうという理解があり、再編させなきゃいけないというような危機感などもない。

【意見】

委員 もっと長い目で見て、三芳も入れて内房で一校に統合してもいいのではという意見も聞いたのだが、統合を何回も繰り返すようなら、ここで思い切って一つに統合したほうがいいのではという気持ちもある。

教育長 その懸念は我々ももっている。三芳地区から嶺南中に通っている子もおり、旧町村の枠組みは意識せず、行きたいところに行くという意識が強いのではと感じている。三芳地区が統合となったときに、富浦や富山、嶺南、館山のどこを選択するのかは現時点では判断しにくい。

【質問】

委員 PTAとして、保護者向けのアンケートなどで意見を集めたい。教育委員会としてはアンケートはやらないとのことだが、過去にPTAが行ったアンケートなどはあるか。

教育長 PTAとして意見を集約する方法としては、PTA会員にアンケートを実施し回答してもらう方法と、PTAの方だけで集まって協議をする方法の二つがあるかと思う。

【意見】

委員 この前のPTAの説明会の際、統合の是非よりも、統合後の通学時や災害時のことについて、雰囲氣的には富山に通うイメージで質問が出ていた。統合が良いのか悪いのかという議論ではなかったから、それを踏まえて、PTAのほうで保護者の意見を確認し、再度検討した方がいい。

教育長 子どもたちを今育てている保護者がどういう意見を持つかが再編を進めてくると一番大きな要素になってくるので、この会議で結論を出さずに、PTAの意見を集約し、次の会議に臨んでもらうのが一番いいと思う。

- 協議の結果、継続審議とすること、保護者の意見を集約してから次回会議に臨むことで異議なし。

(2) 次回会議の日程について

PTAの進捗を伺いながら、正副委員長と相談の上決定する。異議なし。

●その他

事務局より、報償費の支払い、本日の会議録について説明。

富浦地区学校再編検討委員会第4回会議 概要

日時 令和6年10月29日（火）

会場 南房総市役所別館1 大会議室

関係者 検討委員17人、オブザーバー3人、事務局12人

～概要～

協議の中でPTAからの疑問点や不安点が多く出たことから、PTAの意見を改めて集約することとなった。

～会議内容～

●報告等

（1）委員会の進め方のイメージについて

合同会議では再編時期・学校の場所・校名等、現在より具体的な内容を協議してもらう。合同会議に進むと必ず統合しなければならないわけではなく、検討状況によっては、この段階からでも再編保留等の結論が出る可能性もある。

●議事

（1）富浦地区の中学校再編（案）について

- ・事務局より説明後、富浦中・富浦小PTAより保護者からの意見の共有。
- ・富浦中PTAからは、統合自体は賛成している方が多かったが、どういう経緯で富山地区が合意に至ったのか説明してほしい。統合してもまた1クラスになるのに、統合するメリットがあるのか。富浦のほうが立地的に利便性が高い。バスの運行について説明してほしい。統合ありきだと感じている人が多かったので、再編案が出ているが統合しますかということを保護者に聞いて欲しかった等の意見が出たとのこと。
- ・富浦小PTAからは、三芳を交えた計画はないのか。三芳が何人になったら再編の話が出てくるのか。富山・富浦が統合したとして、また子どもの数が減ったら、三芳中の扱いはどうなるのか等の意見が出たとのこと。教育長より、三芳を交えた計画や、三芳地区の統合を検討する具体的な目安はない旨を説明。

【質問】

委員 どういう経緯で富山が統合する方向に決まったのか説明してほしい。統合したら富山中に合併するという話も聞いている。また、富浦・富山で統合して数年後に三芳も統合という話が出てくるのがわかっているのに、今は富浦・富山の再編を考えようと言われても納得できないので、大きな方向性を示してほしい。

教育長 富山地区については、再編についての説明は富浦と全く同じで、検討委員会で協議した上で結論が出た。なお、学校の位置については合同会議で協議するものなので、現時点では全く協議していない。再編の方向性については、令和18年になれば、旧町村、内房地区と外房地区というような意識が薄くなるであろうことも踏まえ、検討する段階に入ったときの市民の意識、生徒数、地形的・地理的なものを踏まえて、検討するのが適切ではないかと思っている。

【質問】

委員 三芳地区のように、富浦地区でも人を増やすことはできないか。

教育長 三芳地区は人が増えているというより、そこまで減らないというイメージ。三芳は民間企業が住宅地を造成しているので、子どもの数の減り方は他地区とは異なる。

【意見】

委員 他の保護者からの意見がない中、8人しかいないPTAからの検討委員が統合の是非を判断するのは怖い。また、三芳はこの先も統合しないのか、ビジョンが見えず不安。

教育長 必要あれば我々が保護者説明会を開くし、アンケートや集会などで保護者の意見を集約する方法もある。なお、三芳については、基本的には1学年の人数が15人以下などになってくれば再編を検討する必要があるのかという目安は持っている。

【質問】

委員 市として、令和何年度に中学校を何校にするという案を掲げてもらったほうが、保護者としては受け入れやすいし、それに対する議論をできるのではないかと。また、統合のタイミングも今回ではなく、三芳小の児童数が少なくなったときでもいいのでは。

教育長 20年近く前に南房総市の小中学校の再編計画を作成し、修正を加え、生徒数の状況を見ながら検討している。今後については、子どもが減れば再編するしかないが、その再編の仕方については状況を見ながらという考えでいる。統合のタイミングは、本委員会ですらなくてもいいという結論になれば、我々はその結論を受け入れるつもり。

- その後、PTAより通学に関する質疑が続く、教育長からの回答を受けてPTAで再度協議。統合に賛成するわけではないが、この会議自体で議論するよりも、一歩進んで、具体的に学校の位置などが出たところで、富浦に不利な意見・案が出て納得できない人がいた場合に統合しないという判断をしたい、との結論が述べられた。
- 他委員より、合同会議に進み、具体的な内容を検討しているときに統合しないと言い出すと、ちゃぶ台返しのような形になるのではとの指摘もあったが、市作成のフロー図から見ても、合同会議に進んだとしても先に進む案と再編を保留する案の二つが用意されているため問題ないと判断。
- また、PTAのほうでももう少し保護者の意見をまとめて、富浦のみでの検討委員会で議論してから、合同会議に臨んだほうがいいのか、との意見もあった。合同会議では、富山の人と面と向かって議論するので、言いたいことも言いづらいのではないかと、との意見。
- 合同会議の前に、富浦と富山のどちらに統合するかを提示することはできないかと、との質問が出たが、教育長より、学校の位置をどこにするかで統合を決めるのではなくて、両校をまず一つにして新しい学校作っていくことで合意していただきたい、との回答があった。
- 協議の結果、継続審議とすることで異議なし。PTAが、改めて保護者の意見を集約することとなった。

(2) 次回会議の日程について

PTA役員と事務局のやり取り後、正副委員長と協議の上決定する。異議なし。

●その他

事務局より、会議録のホームページ掲載について説明。

富浦地区学校再編検討委員会第5回会議 概要

日時 令和7年2月20日（木）
会場 南房総市役所別館1 大会議室
関係者 検討委員13人、オブザーバー3人、事務局11人

～概要～

P T Aより保護者アンケートの結果報告。富山地区や三芳地区等を含め、いろいろな角度で再編を検討していったらどうかという意見もあり、改めて再編案について協議していくこととなった。

～会議内容～

●議事

（1）富浦地区の中学校再編（案）について

- ・事務局より説明後、富浦小・中P T Aが実施した保護者アンケートの結果報告。
- ・「統合に賛成」、「今はその時期ではない」の2択で実施し、小学校は、「統合に賛成」が42。「今はその時期ではない」が58。未回答が21。中学校は、「統合に賛成」が33。「今はその時期ではない」が38。未回答が17だった。
- ・結果報告後、行政連絡員代表・保護者代表・学校代表及び学識経験者の3つのグループに分かれて協議を実施。
- ・協議後、行政連絡員からは、この話し合いを一時休止して、数年後に再度検討を始めるのがいいのではないかと意見が出た。保護者からは、一応検討は続けていくとの意見。学校代表及び学識経験者からは、一時休止しても継続してほしい。まずは保護者アンケートの分析をもう少し細かいところまでやり、併せて、将来的に、富山・三芳も含め、また嶺南中も視野に入れながら、いろいろな角度で再編について検討してほしいとの意見が出た。

【質問】

教育長 「今はその時期ではない」の「今」はいつを想定しているのか。

委員 保護者が「今」をどう捉えているかはわからない。

【質問】

委員 検討を継続するというのは、どういう形で継続するということをイメージしているのか。

教育長 たとえ富山中との統合ということになっても、統合は4～5年先になるだろうと想定しており、今の協議は5年先を見据えていることになる。議論を始めました、すぐ統合しますということとはできないため、統合するとしたら何年度から統合するのか、どこで統合するのかなどは、今から議論してもらわないといけない。統合自体は4～5年先になると思うが、検討自体はやはりやっていく必要はある。

【質問】

委員 富山と富浦の再編の話が破談になる可能性はあるのか。

教育長 破談ということにはならないと思う。富浦が富山以外との再編を検討していくというなら、会議の折に富浦地区の今の状況を説明し、富浦の結論が出るまでそのまま待ってもらうか、また違った対応をするかは、富山地区の方が考えていくことになるかと思う。

【質問】

委員 P T Aに確認したいのだが、保護者全体としては、統合相手は未定だとしても、統合して人数の多い学校にしたほうがいいだろうという方向でいるのか。

委員 アンケート結果からは読めないのですが、保護者がどう思っているかは現時点ではわからない。

【質問】

委員 今はあくまで富浦中と富山中の統合を検討している中で、もし枠組みが変わる可能性があるならば、一旦中止をして、その枠組みで再検討をすべきではないか。

教育長 我々は富山・富浦の統合を提案したが、千倉小・嶺南中の前例もあるので、協議の中で他の枠組みが提案されれば、それに対応して具体的に考えていくつもりである。

- 協議の結果、合同会議へは進まず、富浦地区の検討を継続することで異議なし。

(2) 今後の日程等について

令和7年4月になったら、事務局から検討委員の推薦依頼を行う。推薦の報告を受けた後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行い、完了次第、正副委員長に令和7年度の1回目の会議日程を決定してもらう。委員・関係者には後日手紙にて案内。異議なし。